

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	相談援助の理論と方法B（Theory and Method of Social WorkB）		
ナンバリングコード	E30929	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 社会福祉
単位数	4	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E042951	クラス名	-
担当教員名	鍋田 耕作、大谷 明弘		
履修上の注意、 履修条件	社会福祉士国家試験受験資格を取得しようとする者は必ず受講すること。 すでに、「相談援助の基盤と専門職A・B」および「相談援助の理論と方法A」を履修していることが望ましい。また、応用レベルの科目のため、社会福祉援助技術演習Ⅱを履修していることを条件とします。 よく考えること、たくさん読むこと、真摯な態度で授業に臨むことを心がけてください。		
教科書	新・社会福祉士養成講座8『相談援助の理論と方法Ⅱ』中央法規		
参考文献及び指定図書	MINERVA社会福祉士養成テキストブック3・4『ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ』ミネルヴァ書房		
関連科目	相談援助の基盤と専門職AB 相談援助の理論と方法A 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習		

○基本情報		
授業の目的	ソーシャルワーカーとして欠くことのできない技術の理解・習得を目的とします。 ① 社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。 ② 支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。 ③ 社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。 ④ 個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。	
授業の概要	「社会福祉士及び介護福祉士法」は、「身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するの者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うこと」を、「相談援助」と位置づけている。「相談援助の理論と方法」は、個人、家族、小集団・組織、地域社会をクライアント・システムとしてとらえ、それらのシステムを横断する統一的なソーシャルワーク理論を展開する点に特徴がある。本科目では、ケースマネジメント（ケアマネジメント）、スーパービジョン、コンサルテーション、ネットワークング、さまざまな援助モデルとアプローチなどを講ずる。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	相談援助の現場への関心を深めることができる。		20点	
【知識・理解】	相談援助の実践モデルとやアプローチの方法について総合的に理解できる。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	相談援助の実践モデルやアプローチの方法について、それらの適用可能性を説明できる。		20点	
【思考・判断・創造】	現実場面において相談援助技術を適用して解説することができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
講義内容についての考察(学修に取り組む姿勢・意欲)及び内容(専門知識の活用等) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 講義内容に関する意見交換について、次回以降の講義時間内にフィードバックを行う。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	相談援助の理論と方法B（Theory and Method of Social Work） 鍋田 耕作、大谷 明弘	授業コード	E042951
学修内容					
1. ソーシャルワークにおける援助関係の形成①					
「援助関係」の意義と概念、形成方法について理解する。 ※キーワード: ソーシャルワーカーとクライアントシステムの関係					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
2. ソーシャルワークにおける援助関係の形成②					
「援助関係」の意義と概念、形成方法について理解する。 ※キーワード: 自己覚知と他者理解、コミュニケーションとラポール					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
3. ソーシャルワークにおける援助関係の形成③					
「面接技術」について理解する。 ※キーワード: 面接の意義、目的					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
4. ソーシャルワークにおける援助関係の形成④					
「面接技術」について理解する。 ※キーワード: 面接の方法、留意点、場面と構造、技法					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
5. ソーシャルワークにおける援助関係の形成⑤					
「面接技術」について理解する。 ※キーワード: 面接技術と面接の実際					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
6. ソーシャルワークにおける援助関係の形成⑥					
「面接技術」について理解する。 ※キーワード: ケースワークにおける面接の実際					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
7. ソーシャルワークにおける援助関係の形成⑦					
「アウトリーチ」について理解する。 ※キーワード: 意義、目的、方法、留意点、アウトリーチを必要とする対象、ニーズの掘り起こし					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
8. ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発①					
「社会資源の活用・調整・開発」について理解する。 ※キーワード: 意義、目的、方法、留意点					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	相談援助の理論と方法B（Theory and Method of Social Work） 鍋田 耕作、大谷 明弘	授業コード	E042951
学修内容					
9. ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発②					
「社会資源の活用・調整・開発」について理解する。 ※キーワード: ニーズの集約、提言、計画策定、実施、評価					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
10. ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発③					
「ソーシャルアクション」について理解する。 ※キーワード: 意義、目的、方法、留意点					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
11. ネットワークの形成①					
「ネットワーキング」について理解する。 ※キーワード: 意義、目的、方法、留意点					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
12. ネットワークの形成②					
「ネットワーキング」および「コーディネーション」について理解する。 ※キーワード: セーフティネットの構築とネットワーキング コーディネーションの意義、目的、方法、留意点					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
13. ソーシャルワークに関連する方法①					
「ネゴシエーション」「ファシリテーション」「プレゼンテーション」について理解する。 ※キーワード: 意義、目的					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
14. ソーシャルワークに関連する方法②					
「ネゴシエーション」「ファシリテーション」「プレゼンテーション」について理解する。 ※キーワード: 方法、留意点					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
15. カンファレンス①					
「カンファレンス」について理解する。 ※キーワード: 意義、目的、方法、留意点					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
16. カンファレンス②					
「カンファレンス」について理解する。 ※キーワード: 運営と展開					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	相談援助の理論と方法B（Theory and Method of Social Work） 鍋田 耕作、大谷 明弘	授業コード	E042951
学修内容				
17. 事例分析①				
「事例分析」について理解する。 ※キーワード: 意義、目的				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
18. 事例分析②				
「事例分析」について理解する。 ※キーワード: 方法、留意点				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
19. 事例分析③				
「事例研究・検討」について理解する。 ※キーワード: 意義、目的				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
20. 事例分析④				
「事例研究・検討」について理解する。 ※キーワード: 方法、留意点				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
21. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際①				
相談援助における自己決定の実際について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
22. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際②				
相談援助における権利擁護の実際について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
23. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際③				
相談援助における尊厳の回復・エンパワメントの実際について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
24. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際④				
相談援助における社会正義の実際について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	相談援助の理論と方法B（Theory and Method of Social Work） 鍋田 耕作、大谷 明弘	授業コード	E042951
学修内容					
25. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際⑤					
「総合的かつ包括的な支援の考え方」について理解する。 ※キーワード: 多様化、複雑化した生活課題への対応、今日的な地域福祉課題への対応、分野・領域を横断する支援					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
26. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際⑥					
「家族支援」の実際について理解する。 ※キーワード: 家族が抱える複合的な生活課題、家族支援の目的、方法、留意点					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
27. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際⑦					
「地域支援」の実際について理解する。 ※キーワード: 地域が抱える課題、多機関協働					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
28. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際⑧					
「地域支援」の実際について理解する。 ※キーワード: 地域住民との協働、地域アセスメント					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
29. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際⑨					
「非常時や災害時支援」の実際について理解する。 ※キーワード: 非常時や災害時の生活課題					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
30. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際⑩					
「非常時や災害時支援」の実際について理解する。 ※キーワード: 非常時や災害時における支援の目的、方法、留意点					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
31. 定期試験					
予習					
復習					
32.					
予習					
復習					